

工事設計書

所 属 部 課 名		建設部下水道整備課							
部長	審議監	課長	補佐	補佐	主幹	班	班	設計者	設計審査
工 事 名 称		汚水ます設置工事(R7-3工区)							
工 事 場 所		松戸市市内一円							
事 業 年 度		令和 7 年度							
工 事 価 格		円							
工 事 費 計		円							

松 戸 市

設 計 概 要	汚水ます設置 ・・・ 40箇所
------------------	-----------------

本工事内訳書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	管路施設工							
		ます設置及び取付管布設工						
		小口径汚水ます設置工		式	1			第 1 号内訳書参照
		取付管布設工		式	1			第 2 号内訳書参照
		取付管土工		式	1			第 3 号内訳書参照
		取付管土留工		式	1			第 4 号内訳書参照
	附帶工							
		附帶工		式	1			第 5 号内訳書参照
		舗装復旧工		式	1			第 6 号内訳書参照
		仮設工		式	1			第 7 号内訳書参照

本工事内訳書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	直接工事費計							
		運搬費		式	1			第 8 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
	工事原価							
		一般管理費		式	1			
	工事価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計								

第 1 号 内訳書 小口径汚水ます設置工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ます設置工(塩化ビニル製)	ます径 ϕ 200	箇所	40			第 1 号単価表参照
計						

第 2 号 内訳書 取付管布設工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設および支管取付工	φ 150mm 塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満 本管:塩化ビニル製、材工共	箇所	40			第 2 号単価表参照
取付管推進工		箇所	1			特別調査 第 3 号単価表参照
計						

第 3 号 内訳書 取付管土工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工(小型バックホウ)		m ³	118			第 4 号単価表参照
発生土運搬工	機械積込み	m ³	114			第 5 号単価表参照
機械投入埋戻工(バックホウ)	改良土 昼間	m ³	114			第 6 号単価表参照
残土処分工	BH0.08積込 2tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m ³	4			第 7 号単価表参照
計						

第 4 号 内訳書 取付管土留工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深1.5m以下 BH0.08 昼間	m	21			第 8 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深1.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	21			第 9 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.08 昼間	m	10			第 10 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	10			第 11 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下 BH0.08 昼間	m	10			第 12 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	10			第 13 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)		m	31			第 14 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)		m	10			第 15 号単価表参照
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1			
計						

第 5 号 内訳書 附帶工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	269			第 16 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m ³	0.5			第 17 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m ²	98			第 18 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m ³	7			第 19 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.13	m ³	31			第 20 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	2tDT運搬処分 処分費込み	m ³	31			第 21 号単価表参照
路盤工及び舗装工(人力)市道一般	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)	m ²	59			第 22 号単価表参照
路盤工及び舗装工(人力)主1(N6 旧C)	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=400・下層RC-40 t=400)	m ²	12			第 23 号単価表参照
路盤工及び舗装工(人力)主2(N4 旧A)	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=250・下層RC-40 t=250)	m ²	12			第 24 号単価表参照
路盤工及び舗装工(人力)市道歩道部	表層(再生密粒度As t=40) 路盤(下層RM-40 t=100・砂 t=50)	m ²	15			第 25 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書 舗装復旧工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	340			第 16 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m ³	0.6			第 17 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m ²	525			第 18 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m ³	33			第 26 号単価表参照
不陸整正		m ²	525			第 27 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.13	m ³	1			第 20 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	2tDT運搬処分 処分費込み	m ³	1			第 21 号単価表参照
アスファルト舗装工 市道一般	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)	m ²	306			第 28 号単価表参照
アスファルト舗装工(機械) 市道主1	表層(再生密粒度改質Ⅱ型As20mm t=50 Tコート) 基層(再生粗粒度As20mm t=50 Pコート)	m ²	58			第 29 号単価表参照
アスファルト舗装工(機械)市道主2	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)	m ²	71			第 30 号単価表参照
アスファルト舗装工 歩道	表層(開粒度As13mm t=40)	m ²	91			第 31 号単価表参照

第 6 号 内訳書 舗装復旧工

1式

2頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線工		式	1			第 32 号単価表参照
計						

第 7 号 内訳書 仮設工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B	昼間	人日	141			第 33 号単価表参照
計						

第 8 号 内訳書 運搬費

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬 往路 昼間	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	0.355			第 34 号単価表参照
仮設材等の運搬 復路 昼間	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	t	0.355			第 35 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費 往復分 昼間		t	0.355			第 36 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

ます設置工(塩化ビニル製)

ます径 φ 200

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共)	ます(径200)	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60090

J01 規格・仕様 = 2 ます径 200mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無
 J05 鋳鉄製防護蓋設置の有無 = 2 無

J02 施工規模 = 2 5箇所未満
 J04 夜間作業補正 = 2 無

第 2 号 単価表

取付管布設および支管取付工

φ 150mm塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満
本管:塩化ビニル製、材工共

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材工共)	管径150	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60100

J01 規格・仕様 = 3 管径 150mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無
 J05 取付管長3m未満の場合の補正 = 2 無
 J07 本管材質コンクリート製・陶製の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 2 5箇所未満
 J04 夜間作業補正 = 2 無
 J06 取付管長5m以上12m未満の補正 = 2 無

第3号 単価表

取付管推進工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管材料費		式	1			特別調査 第37号単価表参照
鋼製さや管推進工	φ300	m	3			特別調査 第38号単価表参照
コア穿孔工		箇所	1			特別調査 第39号単価表参照
塩化ビニル管挿入工		m	3			特別調査 第40号単価表参照
侵入水防水工		箇所	1			特別調査 第41号単価表参照
中詰注入工		箇所	1			特別調査 第42号単価表参照
鋼製さや管撤去工		m	3			特別調査 第43号単価表参照
到達部地盤改良工		本	2			特別調査 第44号単価表参照
仮設備工		式	1			特別調査 第45号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 4 号 単価表

機械掘削工(小型バックホウ)

100 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転(1次)	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	日				第 46 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

SDGD10020

J01 小型バックホウ規格 = 1

排対(1次) 山積0.08m³(平0.06m³)

第 5 号 単価表

発生土運搬工

機械積込み

10 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック	2t積級	日				第 47 号単価表参照
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

SDGD10160

J01 ダンプ トラック 規格 = 2
 J03 DID区間 = 2
 J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプ トラック 2t積級
 DID区間あり
 良好

J02 運搬距離 (実数入力) [km] = 6
 J04 バックホウ規格 = 5 小型(1次)山積0.08m³(平0.06m³)

第 6 号 単価表

機械投入埋戻工(パックホウ)

改良土
昼間100 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工(小型パックホウ)		m ³	100			第 48 号単価表参照
建設発生土土質改良土(CBR 6 %以上)	石灰系改良 (葛南)	m ³	120			
計	100 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

第 7 号 単価表

残土処分工

BH0.08積込 2tDT運搬仮置 BH0.8積込

10tDT運搬処分（処分費込み）昼間

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬工(4t積級・2t積級)	機械積込み	m ³	1			第 49 号単価表参照
積込（ルーズ）	BH0.8m ³	m ³	1			第 50 号単価表参照
土砂等運搬	10tDT運搬	m ³	1			第 51 号単価表参照
建設発生土処理費	1処理、流6を除く	m ³	1			
計	1 m ³ 当り					

第8号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深1.5m以下 BH0.08

昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転(1次)	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	日				第46号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 1

掘削深1.5m以下

J02 バックホウ規格 = 1

小型(1次)山積0.08m³(平0.06m³)

第9号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深1.5m以下 トラッククレーン4.9t吊

昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100m 当り					
	1m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 1
J03 トラッククレーン賃料補正 = 1掘削深1.5m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 10 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.0m以下 BH0.08
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転(1次)	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	日				第 46 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 2

掘削深2.0m以下

J02 バックホウ規格 = 1

小型(1次) 山積0.08m³(平0.06m³)

第 11 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊

昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100m 当り					
	1m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 2
J03 トラッククレーン賃料補正 = 1掘削深2.0m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 12 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.5m以下 BH0.08

昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転(1次)	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	日				第 46 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 3

掘削深2.5m以下

J02 バックホウ規格 = 1

小型(1次) 山積0.08m³(平0.06m³)

第 13 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊

昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100m 当り					
	1m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 3

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深2.5m以下

標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第14号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100m 当り					
	1m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3
J03 切梁材区分 = 1設置撤去
切梁材 水圧式^ハイ^フサ^ボート

J02 設置段数・掘削深 = 1

1段 2.0m以下

第15号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100m 当り					
	1m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3
J03 切梁材区分 = 1設置撤去
切梁材 水圧式^ハ^イ^フ^サ-ト

J02 設置段数・掘削深 = 2

2段 3.5m以下

第 16 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード 径 φ 56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径 18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 16 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1
J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 17 号 単価表

汚泥及び廃アルカリ運搬処分工

容器入り 処分費込み

1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬		m ³	1			第 52 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1, 130			
計	1 m ³ 当り					

第18号 単価表

舗装版破碎積込

アスファルト舗装 15cm以下

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
土木一般世話役		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ² 当り					

SCB430310

J01 舗装版種別 = 1
J03 騒音振動対策 = 1
J06 積込作業の有無 = 1

アスファルト舗装版
不要
有り

J02 障害等の有無 = 1
J04 舗装版厚 = 1
J07 費用の内訳 = 1

無し
15cm以下
全ての費用

第 19 号 単価表

As廃材運搬処分工

10tDT運搬処分
処分費込み1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	2tDT運搬	m ³	1			第 53 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m ³ 当り					

第 20 号 単価表

路盤掘削工

BH0.13

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） 〔標準〕	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m ³	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1
J05 施工数量 = 8土砂
小規模（標準以外）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 21 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

2tDT運搬処分
処分費込み1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	2tDT運搬処分	m ³	1			第 54 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	1.8			
計	1 m ³ 当り					

第 22 号 単価表

路盤工及び舗装工(人力)市道一般

表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)

1 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤工	下層路盤 RC-40 t=200	m ²	1			第 55 号単価表参照
路盤工	上層路盤 RM-30 t=150	m ²	1			第 56 号単価表参照
アスファルト舗装工 (人力)	再生密粒度As t=50	m ²	1			第 57 号単価表参照
計	1 m ² 当り					

第 23 号 単価表

路盤工及び舗装工(人力)主1(N6旧C)

表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-30 t=400・下層RC-40 t=400)

1 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤工	下層路盤 RC-40 t=400	m ²	1			第 58 号単価表参照
路盤工	上層路盤 RM-30 t=400	m ²	1			第 59 号単価表参照
アスファルト舗装工 (人力)	再生密粒度As t=50	m ²	1			第 57 号単価表参照
計	1 m ² 当り					

第 24 号 単価表

路盤工及び舗装工(人力)主2(N4旧A)

表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-30 t=250・下層RC-40 t=250)

1 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤工	下層路盤 RC-40 t=250	m ²	1			第 60 号単価表参照
路盤工	上層路盤 RM-30 t=250	m ²	1			第 61 号単価表参照
アスファルト舗装工 (人力)	再生密粒度As t=50	m ²	1			第 57 号単価表参照
計	1 m ² 当り					

第 25 号 単価表

路盤工及び舗装工(人力)市道歩道部

表層(再生密粒度As t=40)
路盤(下層RM-40 t=100・砂 t=50)

1 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フィルター層	歩道部	m ²	1			第 62 号単価表参照
下層路盤	歩道部	m ²	1			第 63 号単価表参照
表層	歩道部	m ²	1			第 64 号単価表参照
計	1 m ² 当り					

第 26 号 単価表

As廃材運搬処分工

10tDT運搬処分
処分費込み1 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	2tDT運搬	m ³	1			第 53 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m ³ 当り					

第 27 号 単価表 不陸整正

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 27 号 単価表 不陸整正

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 2
J03 補足材料 = 8有り
再生粒度調整碎石 RM-30J02 補足材料平均厚さ = 6
J04 費用の内訳 = 128mm以上34mm未満
全ての費用

第 28 号 単価表

アスファルト舗装工 市道一般

表層(再生密粒度As13mm t=50 ポート)

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	運転質量 0.5 ~ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ [前進型]	機械質量 40 ~ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第 28 号 単価表

アスファルト舗装工 市道一般

表層(再生密粒度As13mm t=50 プート)

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m ² 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 11
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
 再生密粒度アスコン (13)
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 瀝青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第 29 号 単価表

アスファルト舗装工(機械) 市道主1

表層(再生密粒度改質II型As20mm t=50 Tコート)

基層(再生粗粒度As20mm t=50 Pコート)

1 m² 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基層(車道・路肩部)	(再生粗粒度As t=50 Pコート)	m ²	1			第 65 号単価表参照
表層(車道・路肩部)		m ²	1			第 66 号単価表参照
計	1 m ² 当り					

第30号 単価表

アスファルト舗装工(機械)市道主2

表層(再生密粒度As13mm t=50 ポート)

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式]	運転質量0.5~0.6t	%	K1			
振動コンパクタ [前進型]	機械質量40~60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第30号 単価表

アスファルト舗装工(機械)市道主2

表層(再生密粒度As13mm t=50 プート)

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m ² 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 11
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
 再生密粒度アスコン (13)
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 瀝青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第31号 単価表

アスファルト舗装工 歩道

表層(開粒度As13mm t=40)

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	運転質量 0.5~0.6t	%	K1			
振動コンパクタ [前進型]	機械質量 40~60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
アスファルト混合物	開粒度アスコン (13)	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第31号 単価表

アスファルト舗装工 歩道

表層(開粒度As13mm t=40)

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m ² 当り					

SCB410660

J01 平均幅員 = 1
J04 材料 = 11.4m未満
開粒度アスコン (13)

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50

第 32 号 単価表

区画線工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	白 (文字) W=15cm換算	m	50			第 67 号単価表参照
区画線設置	白 W=45cm	m	20			第 68 号単価表参照
計	1式 当り					

第 33 号 単価表

交通誘導警備員 B

昼間

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 34 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)
往路 昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

J04 製品長区分 = 1

J06 運搬割増率（実数入力） = 0

関東・中部・近畿
12m以内J02 片道運搬距離（実数入力）[km] = 10
J05 運搬割増率 = 4 各種（実数入力）
J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 35 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)
復路 昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

J04 製品長区分 = 1

J06 運搬割増率（実数入力） = 0

関東・中部・近畿
12m以内J02 片道運搬距離（実数入力）[km] = 10
J05 運搬割増率 = 4 各種（実数入力）
J07 その他の諸料金の有無 = 2 無

第 36 号 単価表

仮設材等の積込み取卸し費

往復分
昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み、取卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積込み、取卸し（往復分）

第 37 号 単価表

取付管材料費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊支管	φ 150	個	1			特別調査
塩化ビニル管	φ 150	本	1			特別調査
計	1式 当り					

第38号 単価表

鋼製さや管推進工

φ300

6.8 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
推進機		日				特別調査
高压洗浄機	30.1L/min 4.9MPa	日				
発動発電機 運転		日				第69号単価表参照
トラック（クレーン装置付）運転		日				第70号単価表参照
強力吸引車運転		日				第71号単価表参照
推進工損耗材料費		m	6.8			第72号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	6.8 m 当り					

第 38 号 単価表

鋼製さや管推進工

φ 300

6.8 m 当り

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	1 m 当り					

第 39 号 単価表 コア穿孔工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
コアピット		個	0.06			特別調査
推進機		日				特別調査
高圧洗浄機	30.1L/min 4.9MPa	日				
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
トラック (クレーン装置付) 運転		日				第 70 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 40 号 単価表

塩化ビニル管挿入工

14.1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
トラック (クレーン装置付) 運転		日				第 70 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	14.1 m 当り					
	1 m 当り					

第 41 号 単価表

侵入水防水工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
トラック (クレーン装置付) 運転		日				第 70 号単価表参照
薬液注入ポンプ	5~20 L / m i n × 2 (9. 8 M P a)	日				
無収縮モルタル	25kg	袋	1			
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 42 号 単価表 中詰注入工

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
トラック (クレーン装置付) 運転		日				第 70 号単価表参照
薬液注入ポンプ	5~20 L / m i n × 2 (9. 8 M P a)	日				
砂	細目	m ³	0. 2			
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 43 号 単価表

鋼製さや管撤去工

20.8 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
推進機		日				特別調査
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
トラック (クレーン装置付) 運転		日				第 70 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	20.8 m 当り					
	1 m 当り					

第 44 号 単価表

到達部地盤改良工

1 本 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
推進機		日				特別調査
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
トラック (クレーン装置付) 運転		日				第 70 号単価表参照
薬液注入ポンプ	5～20 L / m i n × 2 (9. 8 M P a)	日				
削孔用損耗材料		m	3. 1			特別調査
注入用損耗材料		L	475			特別調査
注入材	無機 瞬結	L	475			建設物価 積算資料1月号の平均
諸雑費		式	1			

第 44 号 単価表

到達部地盤改良工

1 本 当り

2 頁

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計	1 本 当り					

第 45 号 単価表

仮設備工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
測量位置出し工		式	1			第 73 号単価表参照
測量位置出し工	地上設置	箇所	1			第 74 号単価表参照
計	1式 当り					

第 46 号 単価表

小型バックホウ運転(1次)

山積0.08m³(平積0.06m³)

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
軽油		L	17			
小型バックホウ (クローラ) [標準]	排出ガス対策型 (第1次基準) 山積0.08m ³	供用日	1.78			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10060

第 47 号 単価表

ダンプ トラック

2t積級

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L	21			
ダンプ トラック [オンロード ・ディーゼル]	2 t 積級	供用日	1. 29			
タイヤ損耗費	2~3 t 積級 良好 供用日	供用日	1. 29			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10190

J01 機械損耗部品補正 = 2

良好

第 48 号 単価表

機械投入埋戻工(小型パックホウ)

100 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
小型パックホウ運転(1次)	山積0.08m ³ (平積0.06m ³)	日				第 46 号単価表参照
タンパ締固め		m ³	100			第 75 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

SDGD10120

J01 小型パックホウ規格 = 1

排対(1次) 山積0.08m³(平0.06m³)J02 タンパ締固め数量(m³) (実数) [m³] = 100

第 49 号 単価表

発生土運搬工(4t積級・2t積級)

機械積込み

10 m³ 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプ トラック	2t積級	日				第 47 号単価表参照
計	10 m ³ 当り					
	1 m ³ 当り					

SDGD10160

J01 ダンプ トラック 規格 = 2
 J03 DID区間 = 2
 J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプ トラック 2t積級
 DID区間あり
 良好

J02 運搬距離 (実数入力) [km] = 2
 J04 バックホウ規格 = 5 小型(1次)山積0.08m³(平0.06m³)

第 50 号 単価表

積込 (ルーズ)

BH0.8m³1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ (クローラ型) [標準型]	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB210020
J01 土質 = 1

土砂

J02 作業内容 = 1

土量50,000m³未満

第 51 号 単価表

土砂等運搬

10tDT運搬

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕	10t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 1

J03 土質 = 1

J06 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13~14.0km以下

標準

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 1

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.8m³ (平積0.6m³)

有り

第 52 号 単価表 運搬

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3

J03 土質 = 1

J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13~23.0km以下

現場制約あり

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 7

J04 DID区間の有無 = 2

人力

有り

第 53 号 単価表

殻運搬

2tDT運搬

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3
 J03 DID区間の有無 = 2
 J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 4
 J10 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13~24.0km以下
 機械積込 (小規模土工)

第 54 号 単価表

土砂等運搬

2tDT運搬処分

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J16 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 15.0km以下

小規模

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 6

J04 DID区間の有無 = 2

パックホウ山積0.13m³ (平積0.1m³)

有り

第 55 号 単価表

路盤工

下層路盤 RC-40 t=200

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 55 号 単価表

路盤工

下層路盤 RC-40 t=200

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 200

J03 材料 = 6 再生クラッシャン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工

全ての費用

第 56 号 単価表

路盤工

上層路盤 RM-30 t=150

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			

第 56 号 単価表

路盤工

上層路盤 RM-30 t=150

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 150

J03 材料 = 2 再生粒度調整碎石 RM-30

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 57 号 単価表

アスファルト舗装工（人力）

再生密粒度As t=50

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第 57 号 単価表

アスファルト舗装工（人力）

再生密粒度As t=50

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m ² 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 11
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m未満（仕上厚50mm以下）
 再生密粒度アスコン（13）
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 漆青材料種類 = 2 フライト PK-3

第 58 号 単価表

路盤工

下層路盤 RC-40 t=400

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 58 号 単価表

路盤工

下層路盤 RC-40 t=400

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 400

J03 材料 = 6 再生クラッシャン RC-40

J02 施工区分 = 2

J04 費用の内訳 = 1

2層施工

全ての費用

第 59 号 単価表

路盤工

上層路盤 RM-30 t=400

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			

第 59 号 単価表

路盤工

上層路盤 RM-30 t=400

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 400

J03 材料 = 2

再生粒度調整碎石 RM-30

J02 施工区分 = 3

J04 費用の内訳 = 1

3層施工

全ての費用

第 60 号 単価表

路盤工

下層路盤 RC-40 t=250

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 60 号 単価表

路盤工

下層路盤 RC-40 t=250

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 250

J03 材料 = 6 再生クラッシャン RC-40

J02 施工区分 = 2

J04 費用の内訳 = 1

2層施工

全ての費用

第 61 号 単価表

路盤工

上層路盤 RM-30 t=250

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM-30	%	Z1			

第 61 号 単価表

路盤工

上層路盤 RM-30 t=250

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 250

J03 材料 = 2

再生粒度調整碎石 RM-30

J02 施工区分 = 2

J04 費用の内訳 = 1

2層施工

全ての費用

第 62 号 単価表

フィルター層

歩道部

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.11m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
フィルター材料		%	Z1			

第 62 号 単価表

フィルター層

歩道部

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410650
J01 平均厚さ = 1

40mm以上60mm未満

第 63 号 単価表

下層路盤

歩道部

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m ³	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コバインド式]	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			

第 63 号 単価表

下層路盤

歩道部

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z2			
	1 m ² 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 100

J03 材料 = 6 再生クラッシャン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工

全ての費用

第 64 号 単価表

表層

歩道部

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	運転質量 0.5 ~ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ [前進型]	機械質量 40 ~ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (13)	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 64 号 単価表 表層

歩道部

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
軽油		%	Z3			
	1 m ² 当り					

SCB410261

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)

再生密粒度アスコン (1 3)

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 40

J06 瀝青材料種類 = 5 無し

第 65 号 単価表

基層（車道・路肩部）

(再生粗粒度As t=50 Pコート)

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生粗粒度アスコン（20）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第 65 号 単価表

基層（車道・路肩部）

(再生粗粒度As t=50 Pコート)

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m ² 当り					

SCB410240

J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 12
 J07 費用の内訳 = 1

1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
 再生粗粒度アスコン (20)
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 漆青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第 66 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m² 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
アスファルト合材	改質II型 再生密粒度アスコン20	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	%	Z2			

第 66 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m² 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m ² 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 35
 J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）
 各種（2.30以上2.40t/m³未満）
 全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 瀝青材料種類 = 1 タックコート PK-4

第 67 号 単価表

区画線設置

白（文字）W=15cm換算

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式） 昼間	豪雪無 実線15cm 制約受ける	m	1,000			
トライックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	570			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	25			
接着用プライマー	区画線用	kg	25			
軽油		L	40			
諸雑費（率+まるめ）		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 1 實線 15cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 68 号 単価表

区画線設置

白 W=45cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 実線45cm 制約受ける	m	1,000			
トライフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	1,700			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	75			
接着用プライマー	区画線用	kg	75			
軽油		L	73			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 4 実線 45cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 69 号 単価表

発動発電機 運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	26			
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	排出ガス対策型（第1次）20／25 kVA	日				
計	1 日 当り					

第 70 号 単価表

トラック (クレーン装置付) 運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	30.6			
トラック	クレーン装置付2.9t吊4~4.5t積	供用日	1.23			
計	1 日 当り					

第 71 号 単価表

強力吸引車運転

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L	54			
強力吸引車		日				
計	1 日 当り					

第 72 号 単価表

推進工損耗材料費

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼製さや管		m	1			特別調査
プランククラウン		m	1			特別調査
ボーリングロッド		m	1			特別調査
ウォータースイベル		m	1			特別調査
計	1 m 当り					

第 73 号 単価表

測量位置出し工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
発動発電機 運転		日				第 69 号単価表参照
送風機	φ 280 6m ³ /min	供用日	0.54			令和7年度建設機械損料表
計	1式 当り					

第 74 号 単価表

測量位置出し工

地上設置

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラック（クレーン装置付） 運転		日				第 70 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

第 75 号 単価表

タンパ締固め

1 m³ 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1 m ³ 当り					

SCB210450

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

ます設置及び取付管布設工・附帯工			
工種	形状寸法	単位	合計
ます設置及び取付管布設工			
1) 小口径污水ます設置工			
ます設置工(塩化ビニル製)	ます径 φ 200	箇所	40
2) 取付管布設工			
取付管布設および支管取付工	φ 150mm 塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満本管:塩化ビニル製、材工共	箇所	40
取付管推進工		箇所	1
3) 取付管土工			
機械掘削工(小型バックホー)		m ³	118
発生土運搬工	機械積込み	m ³	114
機械投入埋戻工(バックホー)	改良土 昼間	m ³	114
残土処分工	BH0.08積込 2tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m ³	4
4) 取付管土留工			
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深1.5m以下 BH0.08 昼間	m	21
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深1.5m以下 トッククレーン4.9t吊 昼間	m	21
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.08 昼間	m	10
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トッククレーン4.9t吊 昼間	m	10
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下 BH0.08 昼間	m	10
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下 トッククレーン4.9t吊 昼間	m	10
土留支保工(軽量金属支保工)	2.0m以下 昼間	m	31
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5m以下 昼間	m	10
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1
附帯工			
1) 附帯工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	269
汚泥及び発アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m ³	0.5
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m ²	98
As発材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m ³	7
路盤掘削工	BH0.13	m ³	31
路盤廃材運搬処分工	2tDT運搬処分 処分費込み	m ³	31
路盤工及び舗装工(人力)市道一般	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)	m ²	59
路盤工及び舗装工(人力)主1(N6旧C)	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=400・下層RC-40 t=400)	m ²	12
路盤工及び舗装工(人力)主2(N4旧A)	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=250・下層RC-40 t=250)	m ²	12
路盤工及び舗装工(人力)市道歩道部	表層(再生密粒度As t=40) 路盤(下層RM-40 t=100・砂 t=50)	m ²	15
2) 舗装復旧工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	340
汚泥及び発アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m ³	0.6
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m ²	525
As発材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m ³	33
不陸整正		m ²	525
路盤掘削工	BH0.13	m ³	1
路盤廃材運搬処分工	2tDT運搬処分 処分費込み	m ³	1
アスファルト舗装工 市道一般	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)	m ²	306
アスファルト舗装工(機械) 市道主1	表層(再生密粒度改質II型As20mm t=50 Tコート)	m ²	58
アスファルト舗装工(機械) 市道主2	基層(再生粗粒度As20mm t=50 Pコート)	m ²	71
アスファルト舗装工 歩道	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)	m ²	91
区画線工	表層(開粒度As13mm t=40)	m ²	式
3) 仮設工			
交通誘導警備員B	昼間	人日	141
運搬費			
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 往路 昼間	t	0.355
仮設材等の運搬	(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 復路 昼間	t	0.355
仮設材等の積込み取卸し費	往復分 昼間	t	0.355

設 計 基 本 情 報

- ・単価世代 2026年 2月 1日
 - ・諸経費工種 下水道工事 (2)

- ・時間的制約状況 制約を受ける
 - ・施工地域補正 市街地(DID補正)
 - ・交通誘導警備員は時間的制約対象外

- ・週休2日補正 なし

一式当たり内訳書

契約条件明示及び特記仕様書 汚水ます設置工事(R7-3 工区)

一般事項

1－1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「[汚水ます設置工事\(R7-3 工区\)](#)」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書の定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

1－2 目的

本工事の目的は、より良い市民生活を目指す本市下水道整備事業に基づき、その計画を遂行する為に必要な施設を構築することにある。受注者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

1－3 施工計画書

1. 受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表
- (4) 指定機械
- (5) 主要機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画
- (9) 安全管理
- (10) 緊急時の体制及び対応
- (11) 交通管理
- (12) 環境対策
- (13) 現場作業環境の整備
- (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- (15) その他

2. 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

3. 受注者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

4. 本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、受注者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しなければならない。

1－4 使用材料

受注者は、工事着手前に設計図書及び監督職員に指定された材料について監督職員に提出しなければならない。

1－5 施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

1－6 工事着手前の確認

1. 受注者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 受注者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。
3. 受注者は、工事の施工に当たり、損傷の受けるおそれのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。
4. 既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。
5. **本工事に伴う家屋事前調査については実施していないため、請負者においては万が一の影響を考慮し、工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。**工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。

1-7 その他

1. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに毎月1回下水道施工管理様式（下水道第4号様式）に基づき月間工程報告書を提出しなければならない。
2. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。
3. 現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工のしていないときにも危険のないようにしておかなければならない。
4. 受注者は工事（工事請負代金額が500万円以上（消費税を含む））の施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工計画書に明記して提出することができる。
5. **本工事施工に先立ち、下記のとおり移設工事等はないが、企業者と連絡をとり立会い等行うこと。**

5-1 地上支障物・地下埋設物の有無

管理者	支障物件	支障位置	対処方法	対処時期
東京電力	—	—	—	—
NTT	—	—	—	—
J COM	—	—	—	—
京葉ガス(株)	—	—	—	—
千葉県水道局	—	—	—	—

5-2 企業者立会い等及び現地を確認して疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議すること。

6. 本工事施工に先立ち、道路管理者に「道路掘削工事申請書」を提出し許可を得ること。また、許可を得た際には監督職員に許可書の写しを提出すること。

環境対策について

1. 受注者は、建設工事に伴う騒音・振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 受注者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を隨時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。
3. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、受注者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

1. 本工事は**昼間作業（9：00～17：00）**を原則とする。施工中の交通整理員は、**1日3名以上**の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
2. 交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通(通行人を含む)等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
3. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
4. 本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。
5. 集中豪雨に対する対策を具体的に、施工計画に明記すること。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（C O B R I S）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、柏市岩井 296-1地先、片道運搬距離13.5 kmの株エスプロックに搬出するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。発生土(114m³)は、鎌ヶ谷市中沢 297地先、片道運搬距離6.0 kmのフロンティア流通(株)に搬出し、処理するものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材(32m³)は、柏市高田 1116-32地先、片道運搬距離14.2 kmの株丸昭建材に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- 1) アスファルト・コンクリート塊 (40m³) は、我孫子市日秀字堀込 230-4 地先、片道運搬距離 19.1 km の東京利根開発株に運搬し、処理するものとする。
- 2) コンクリート塊 (____ m³) は、____ 市____ 地先、片道運搬距離 ____ km の____ に運搬し、処理するものとする。
- 3) 建設汚泥 (____ m³) は、____ 市____ 地先、片道運搬距離 ____ km のに運搬し、処理するものとする。
- 4) 汚泥、廃アルカリ (1m³) は、八千代市吉橋 1075-9 地先、片道運搬距離 16.1 km の千葉丸辰道路株に運搬し、処理するものとする。
- 5) 建設混合廃棄物 (____ m³) は、____ 市____ 地先、片道運搬距離 ____ km の____ に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

工事実績情報作成、登録（旧工事カルテ作成、登録）について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事実績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に完成時は、工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事について

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。
受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。
工事の実施にあたっては、「[松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領](#)」に基づき行うこと。

土工

1. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、掘削の範囲や施工方法については請負者の定めるところによるものとする。
2. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、埋め戻しに使用する土砂は、改良土とし、建設副産物の再利用に寄与するものとする。但し、発生土が良質で埋戻し材として使用できると判断した場合は監督職員の承諾を得て使用できる。この場合、設計変更の対象となる。
3. 下水道管上に地下水がある場合の埋戻しは再生砂とすること。再生砂を埋め戻し材として使用する場合は、1購入先あたり1検体の試験を行うものとする。六価クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される測定法に基づき、あらかじめ土壤の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。（「土壤の汚染に係る環境基準について」参照）
4. 排水施設工事（本管、取付管、マンホール等）の埋戻しは、構造物に影響が出ないように配慮し、図面等で別に定める場合を除き、1層の巻き出し厚は以下の通りとする。

松戸市道	一層30cm以内での転圧
千葉県管理道路	一層15cm以内での転圧
その他公道	管理者の基準に従うこと。
5. 掘削において、高さが規定されている場合は、余掘り等出来るだけ地山を乱さないように施工すること。また、掘削面が軟弱な場合は砂等で置換するなど検討すること。
6. 掘削幅が図面上に記入してあるが、指定ではなく積算上の数値である。管布設を行うにあたり、施工性や品質を確保するための施工必要幅を請負者で設定し、写真管理をするものとする。
7. 国道や県道、河川占用を伴う施工箇所がある場合において、その施工方法については管理者の許可条件に従わなければならない。
8. 改良土による埋戻しにあたっては、「埋戻しの施工管理基準」に従い管理しなければならない。

開削工、汚水ます設置及び取付管工

1－1 工程

開削工は日々復旧し交通開放後、通行に支障の無いようにしなければならない。路面表示等がある場合は、仮設の措置を必ず講ずること。

1－2 仮設

1. 土留工に関し、図面等の設計図書に記載のない事項については、施工者において、設計意図を踏まえ検討し、施工計画するものとする。但し、下記に示す事項は遵守するものとする。

支保工 $H \leq 2.0m$	1 段
$2.0m < H \leq 3.5m$	2 段
$3.5m < H$	3 段

H : 掘削深

建込工法の根入れ長は 20cm 以上とる。

圧入工法の根入れ長は 50cm 以上とる。

2. 打ち込み矢板は、土べら落としを十分に行い、また引き抜きにおいては、1枚おきや千鳥に抜くなど構造物に影響しないように施工すること。なお、施工が原因で目的物の品質低下が確認された場合は改善を求めることがある。
3. 図面上に記した仮設標記は、指定ではなく積算上の標記である。管布設を行うにあたり、安全や出来型、品質を確保するための仮設を請負者で検討し、施工計画に明示すること。

1－3 汚水ます設置及び取付管工

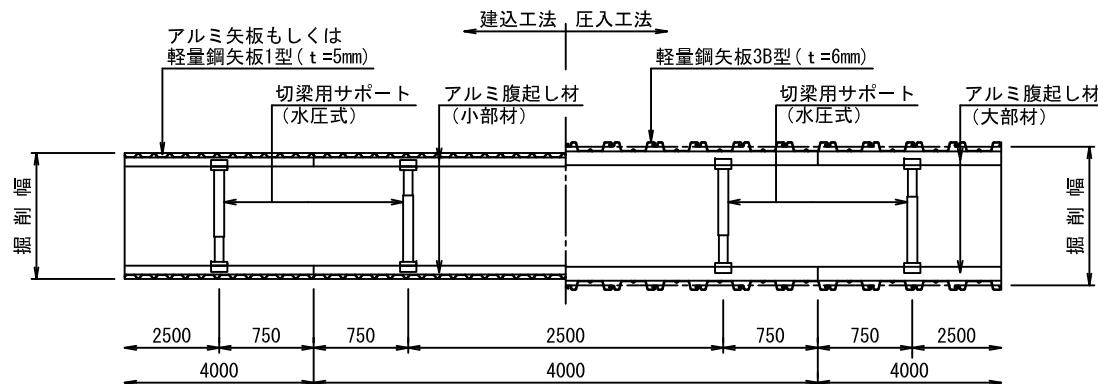
1. 汚水ますの設置位置については、使用者（地権者）の立会いを求め、再度確認のうえ決定しなければならない。
2. 設置完了後は、速やかに使用者及び地権者に設置確認印をもらうこと。
3. 私道ます設置においても、室内ますと同様に対処すること。基本的に流入径は 150mm とし、流入方向はストレートとする。
4. まずは、宅地・私道形態等を十分に調査したうえ再確認すること。なお、最小ます深は流入口で 80cm とし、いたずらに深くすることを避けるとともにます深が 1.20m を超える場合は底部有孔式（ドロップ式）を検討すること。
5. 急勾配の場所に設置する場合は、ふたの設置に配慮した施工を心掛けること。
6. ますの取り付けは室内改造をする側に立って使用者（地権者）に適切な助言をするとともに、使用者の要望が無い場合は取り付け位置を限定することのないよう施工すること。
7. ますの埋戻しは十分に行い、引渡し前にも確認すること。

舗装復旧工

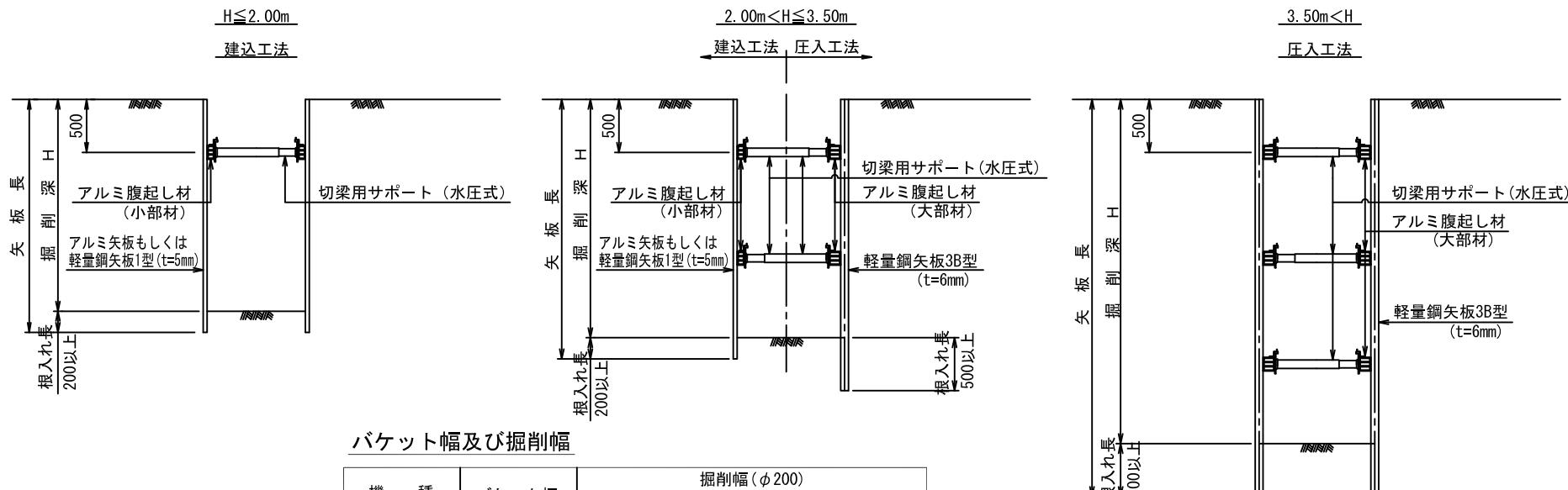
1. 舗装構成は図面によるが、路盤については複層転圧し密度を高めること。最大限度は以下の通りである。

松戸市道	上層路盤は 15cm 以下、下層路盤は 20cm 以下
千葉県管理道路	管理者の基準に従うこと。
その他公道	管理者の基準に従うこと。
2. 本工事の路線は、全て管布設完了後、基準範囲の復旧仕上げとする。この際、即日にて舗設を行うこととする。また、舗装本復旧時にやむを得ず路盤にて開放する時は、監督職員と協議すること。ただし、休日の路盤開放は避けること。
3. 復旧は、解放後段差や凹凸など通行に危険のない様に行わなければならない。瑕疵による場合は引渡し後であっても改善を求めることがある。

平面図



断面図



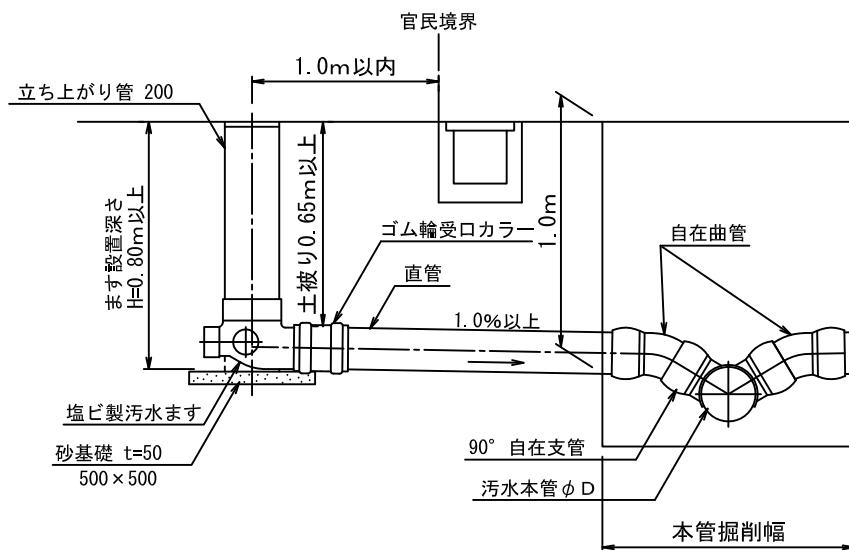
パケット幅及び掘削幅

機種	パケット幅	掘削幅 ($\phi 200$)		
		建込工法 (アーリミ)	建込工法 (軽量)	圧入工法 (軽量)
0.1m3級	0.50m	0.95m	0.95m	0.95m
0.2m3級	0.60m	0.95m	1.00m	1.05m
0.35m3級	0.70m	1.05m	1.10m	1.15m

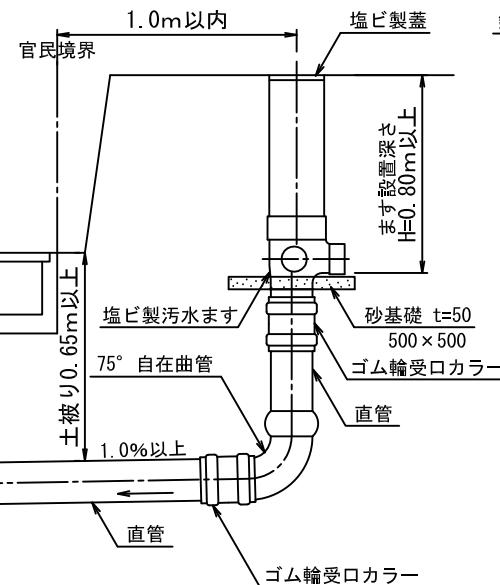
※ 軽量鋼矢板長は、縦断面図参照

面図	土留工標準図
縮尺	—
圖番	9
松戸市 建設部	

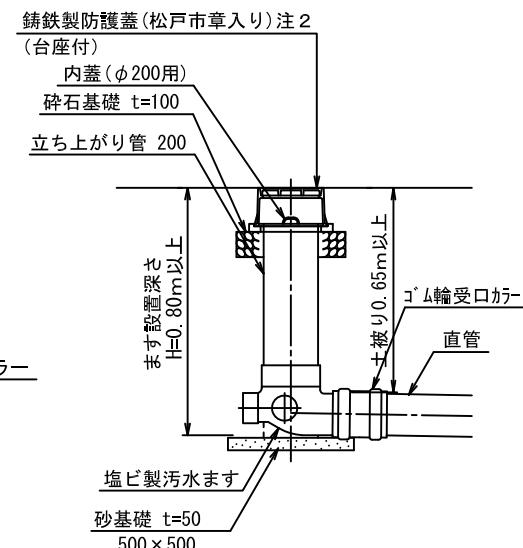
Aタイプ



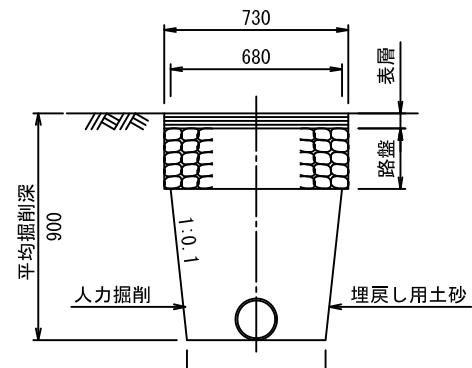
Bタイプ



私道部(防護蓋)

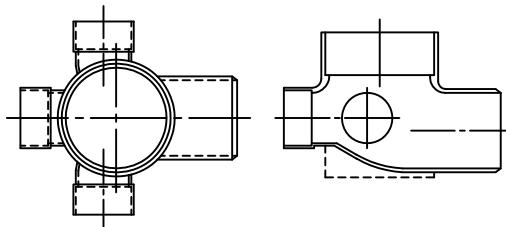


A-A
(取付管布設標準図)



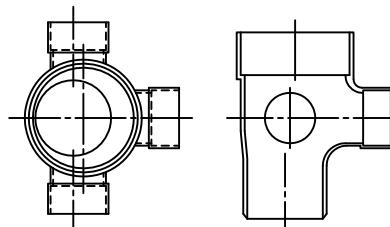
小型取付ます

Aタイプ



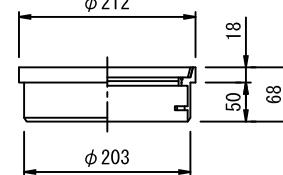
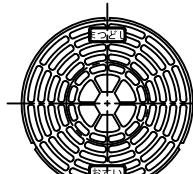
小型取付ます

Bタイプ



塩ビ製蓋紋章

(差し口形 ワンタッチ蓋)



注 1) 宅内用ます流入径は、 $\phi 100\text{mm}$ 、私道用ます流入径は、 $\phi 150\text{mm}$ とする。

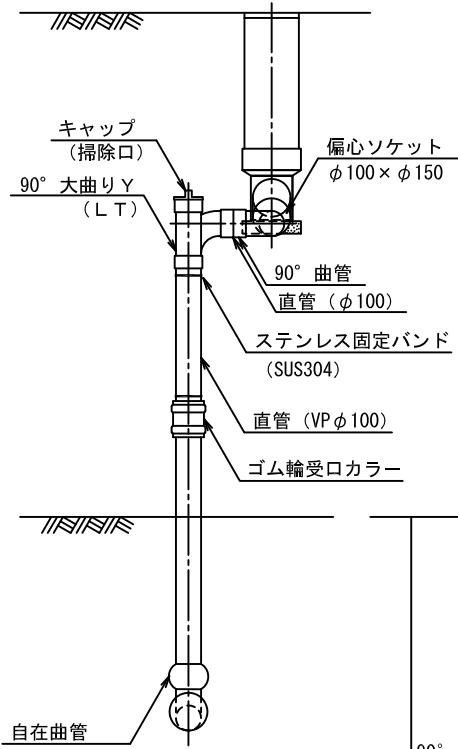
注 2) 私道部については、鋳鉄製防護蓋（クサリ付）を設置する。

注 3) 松戸市章入りについては、「まつどし・おすい」と明記すること。

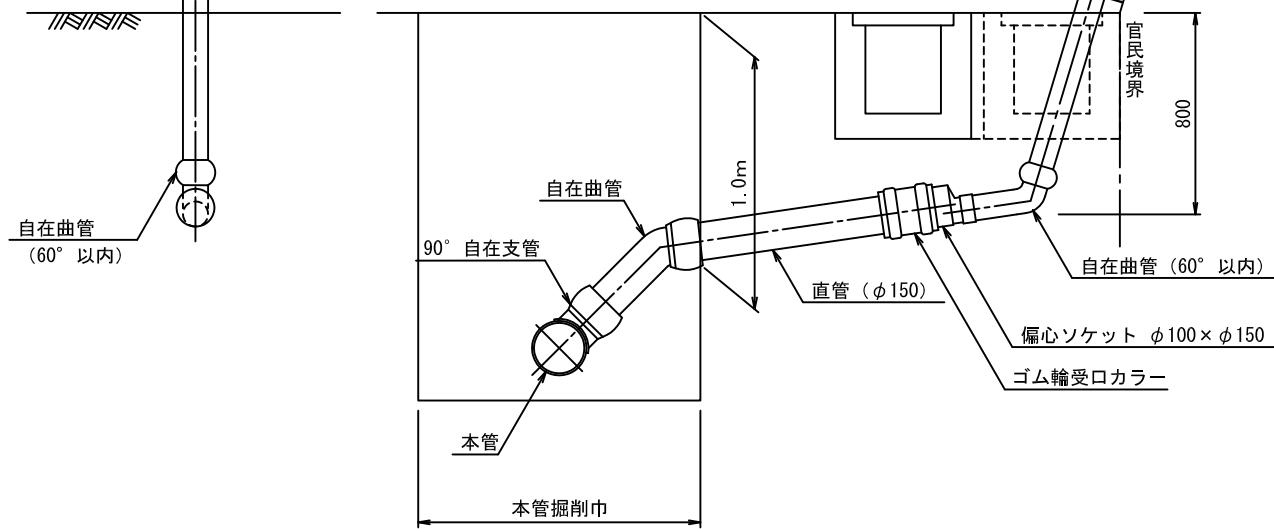
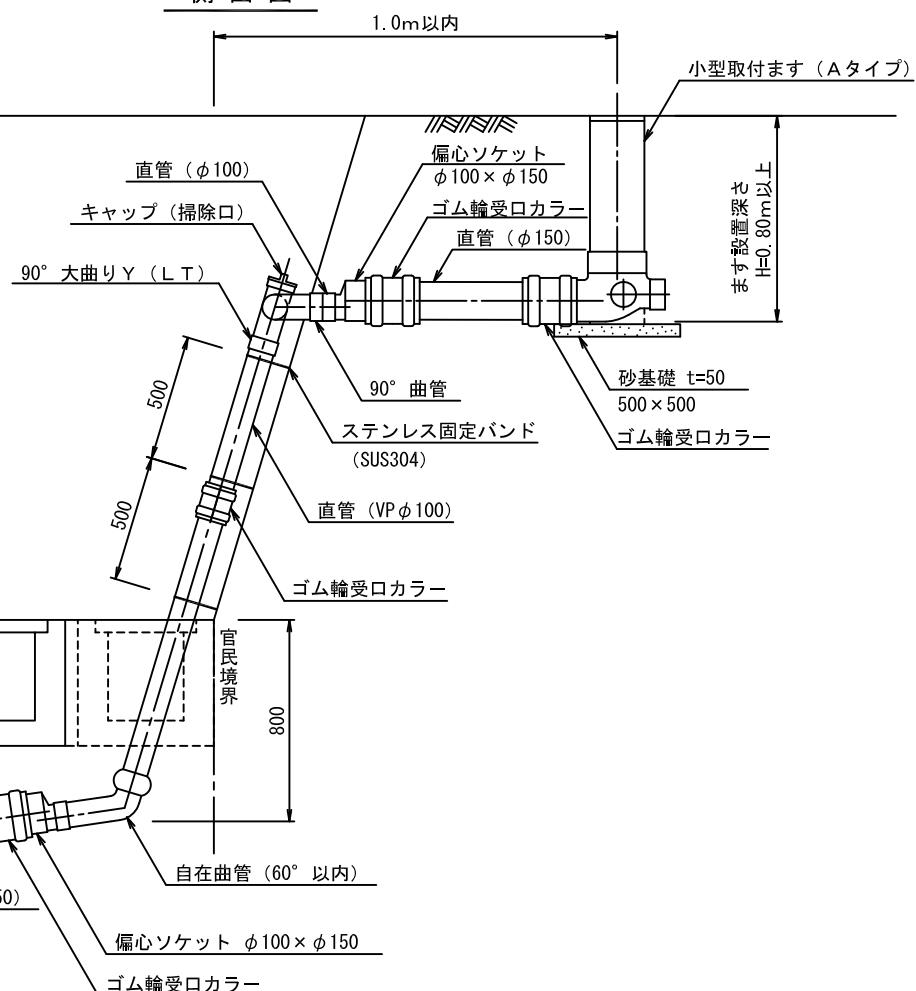
図面縮尺	塩ビ製污水ます・取付管布設標準図 (1)	
1 : 20	図番	29
松戸市 建設部		

Cタイプ

正面図



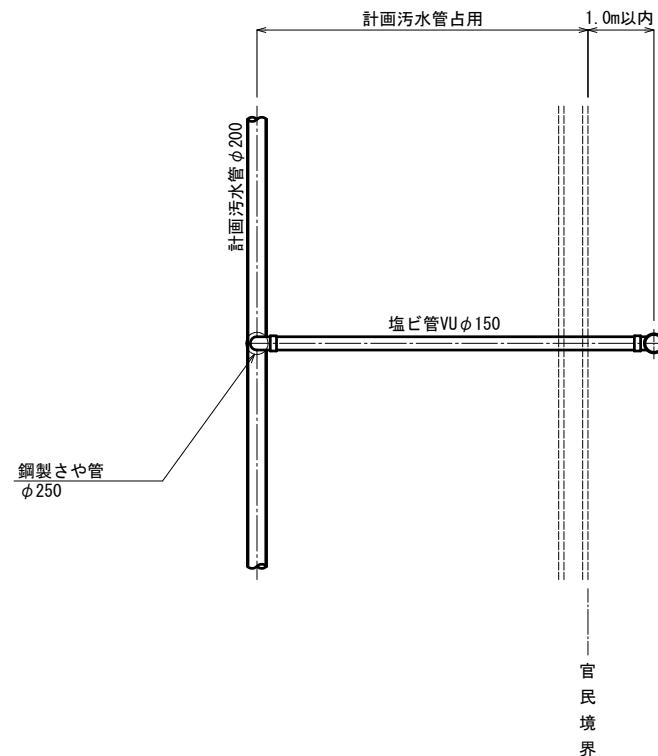
側面図



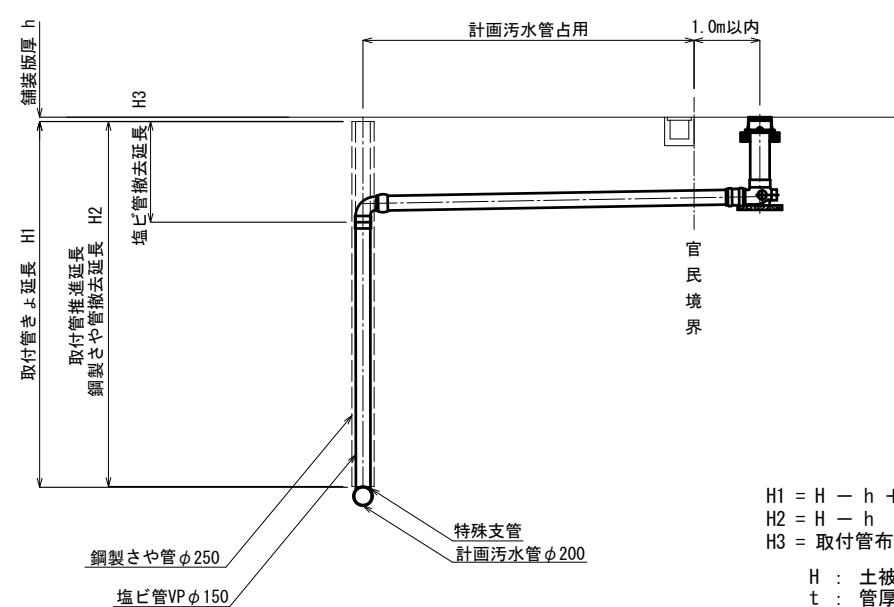
図面	塩ビ製污水ます・取付管布設標準図 (2)	
縮尺	1 : 20	図番 30
松戸市 建設部		

取付管推進標準図 縮尺 1:30

平面図



断面図



$$H_1 = H - h + t$$

$$H_2 = H - h$$

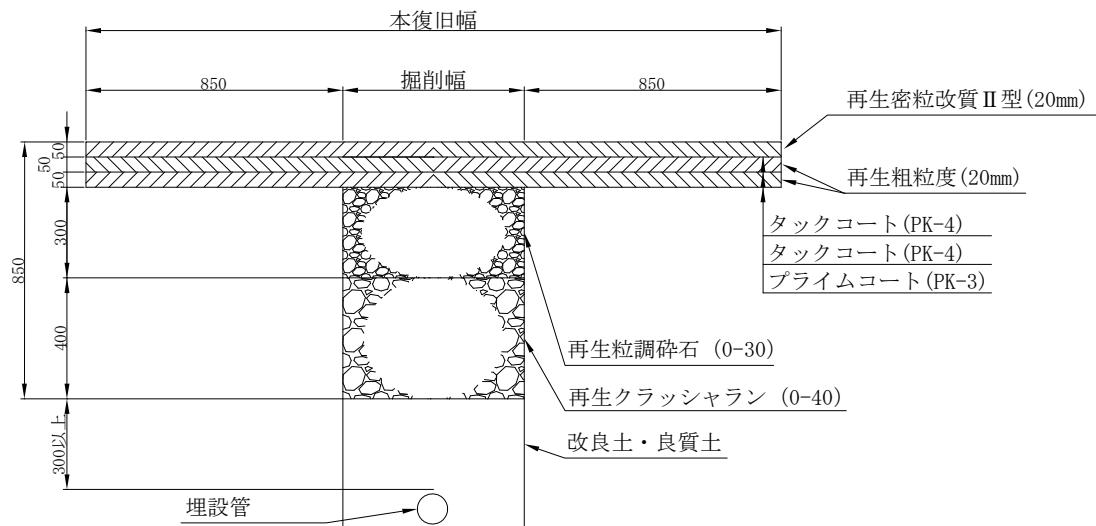
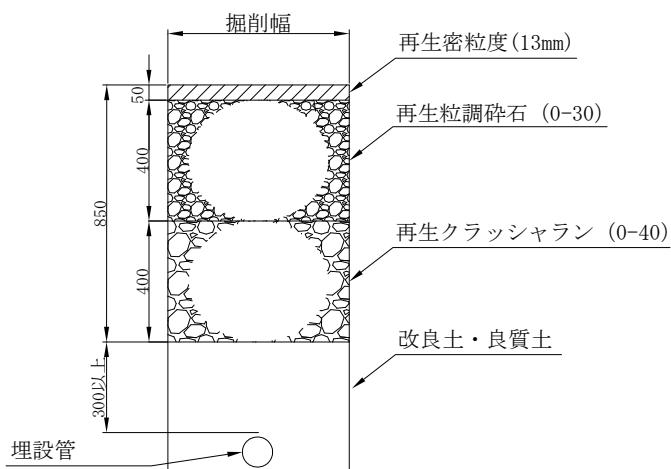
$$H_3 = \text{取付管布設深さ}$$

H : 土被り
t : 管厚

面図	取付管推進工法標準図
縮尺	_____
番号	_____

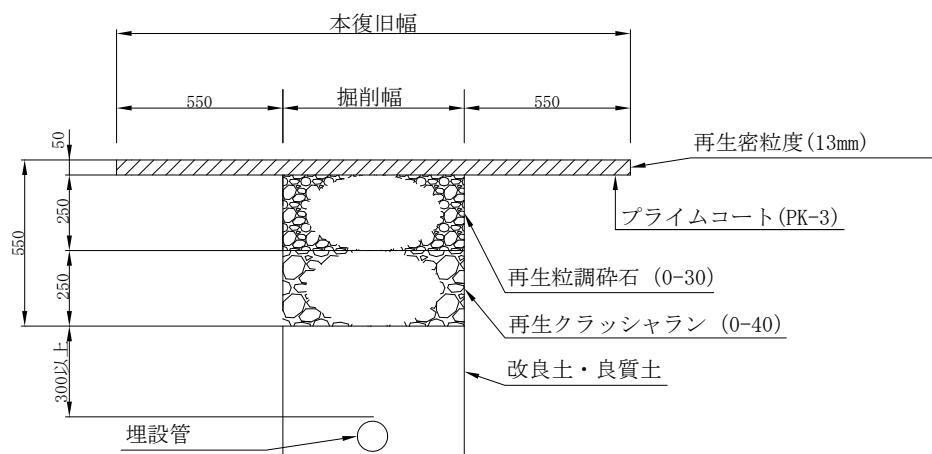
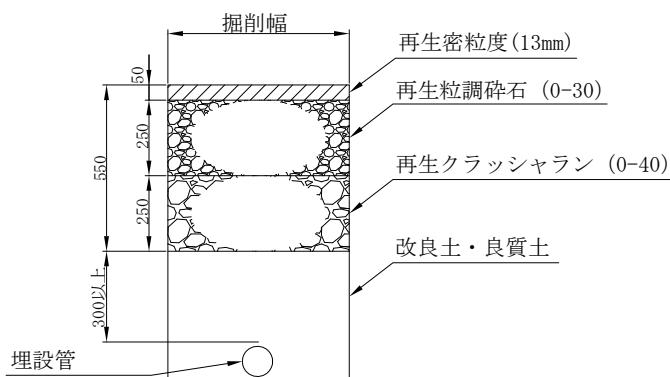
松戸市 建設部

松戸主1 (交通区分: N6・旧C交通)

本復旧仮復旧

- * 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。
 - * 上層路盤の仕上がり厚は1層15cm以下、下層路盤の仕上がり厚は1層20cm以下とする。
- 注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

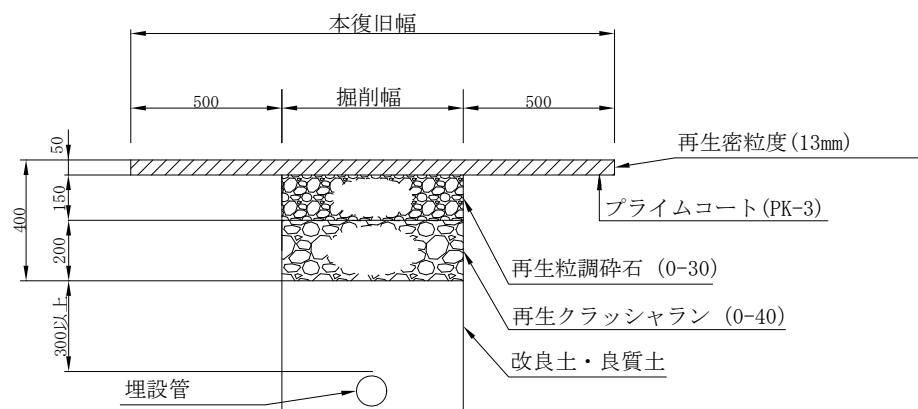
松戸主2(交通区分: N4・旧A交通)

本復旧仮復旧

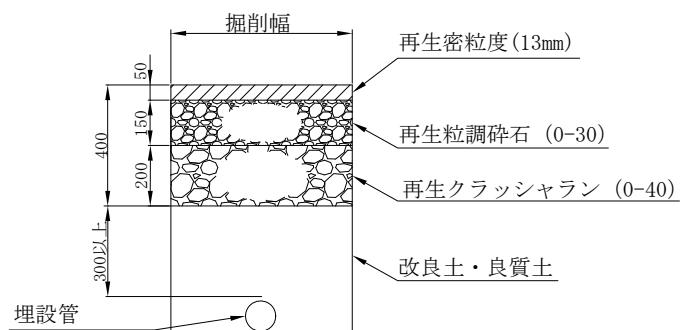
- * 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。
 - * 上層路盤の仕上がり厚は1層15cm以下、下層路盤の仕上がり厚は1層20cm以下とする。
- 注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

松戸市一般 (交通区分 : N 3 ・ 旧 L 交通)

本復旧



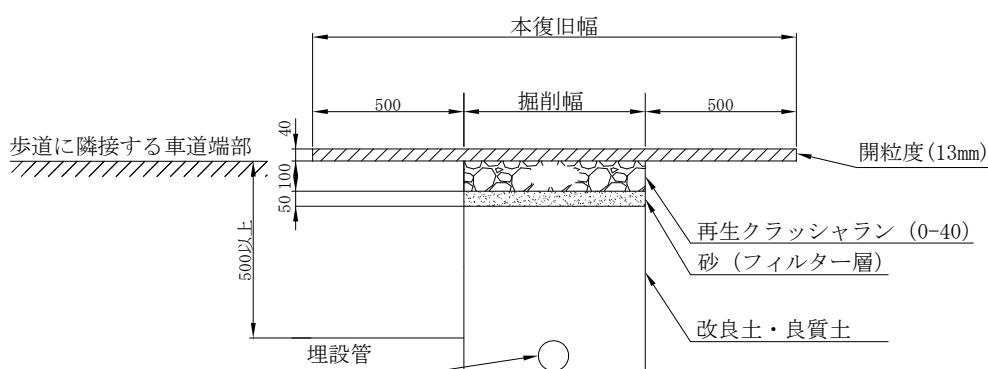
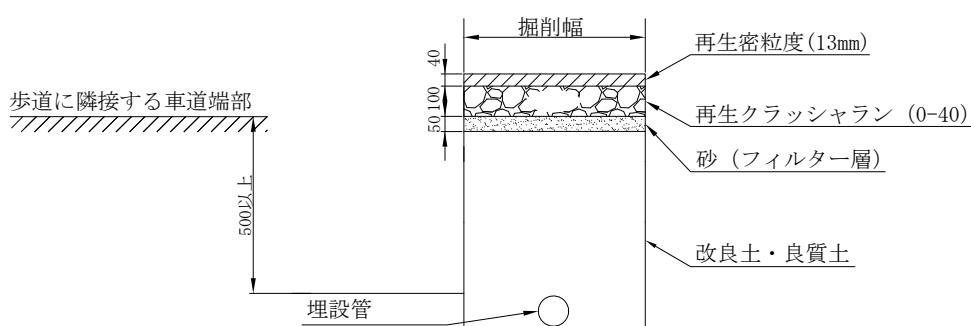
仮復旧



* 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

松戸市普通歩道 アスファルト舗装(一般部)

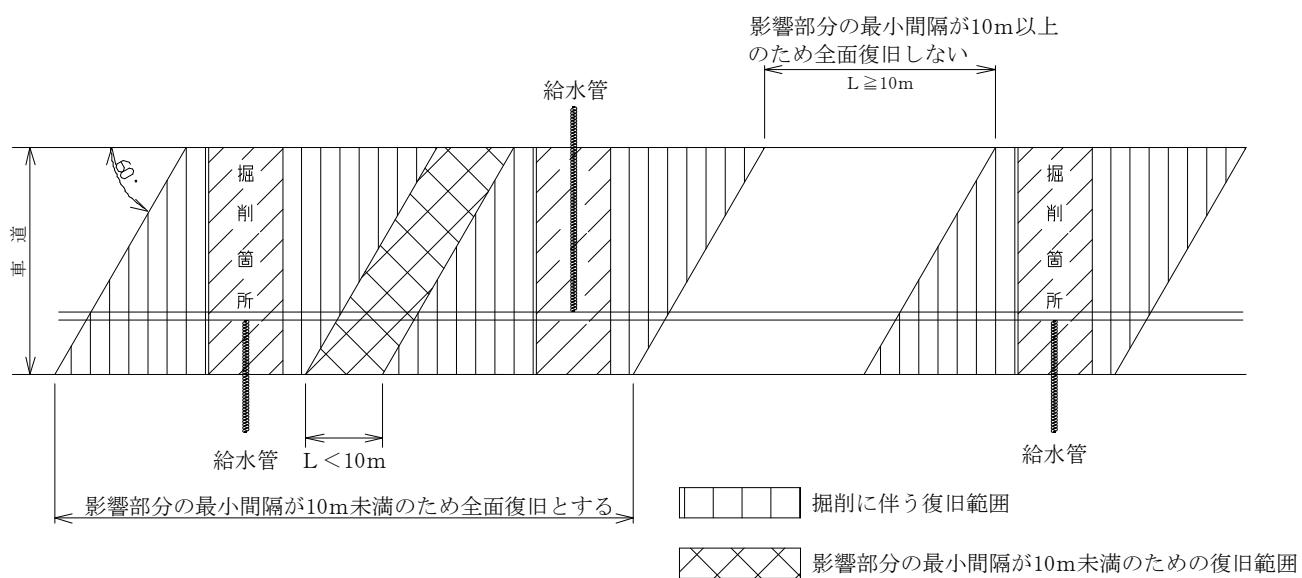
本復旧仮復旧

* 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

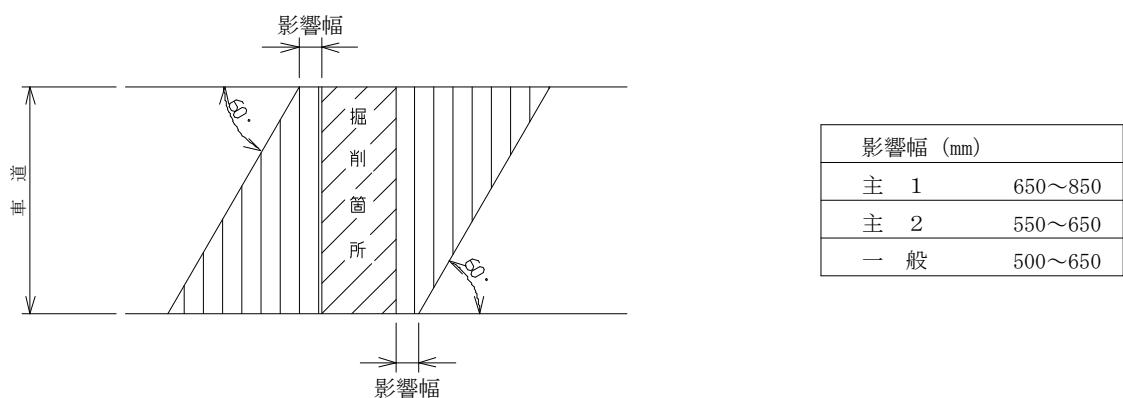
注 横断復旧は幅2mを最小とし、全幅員とする。

車道本復旧施工図(横断) 占用適用図 (幅員 5 m未満)

横断占用が連絡する場合の本復旧施工例



掘削幅が狭い場合の本復旧施工例



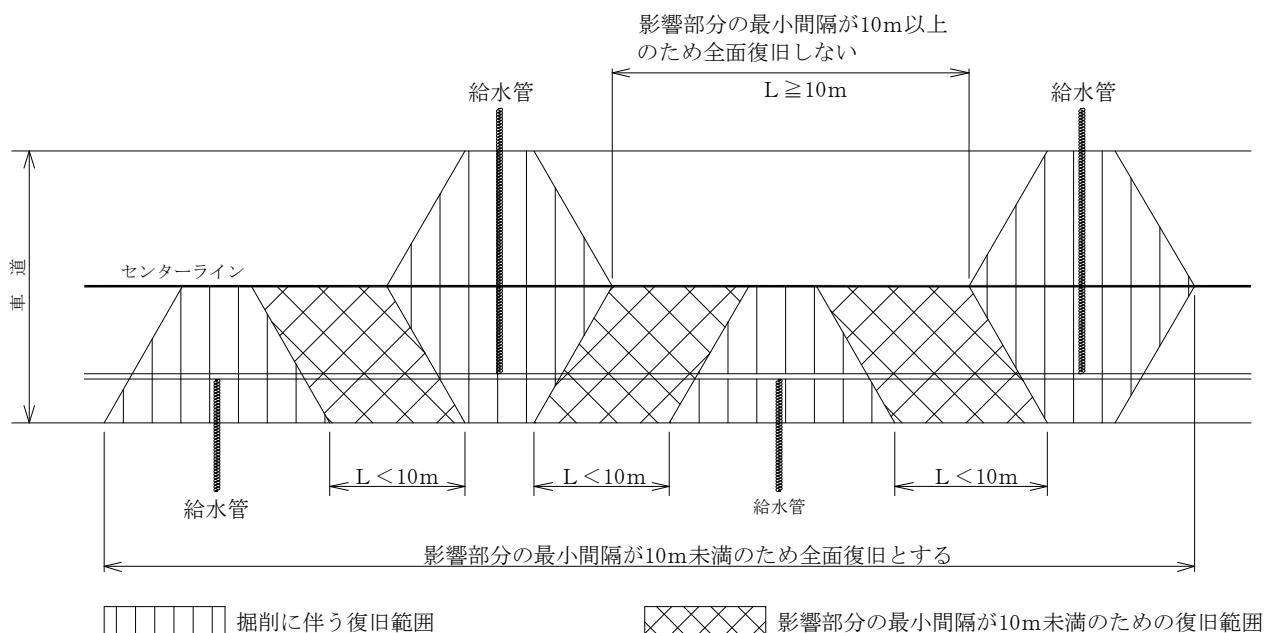
* 同一路線で他の工事と競合する場合の舗装本復旧は最終の施工者を定め、路面の舗装継目が最小になるよう一面整備とする。

注 道路付属物等の改築に伴うアスファルト復旧においても適用する。

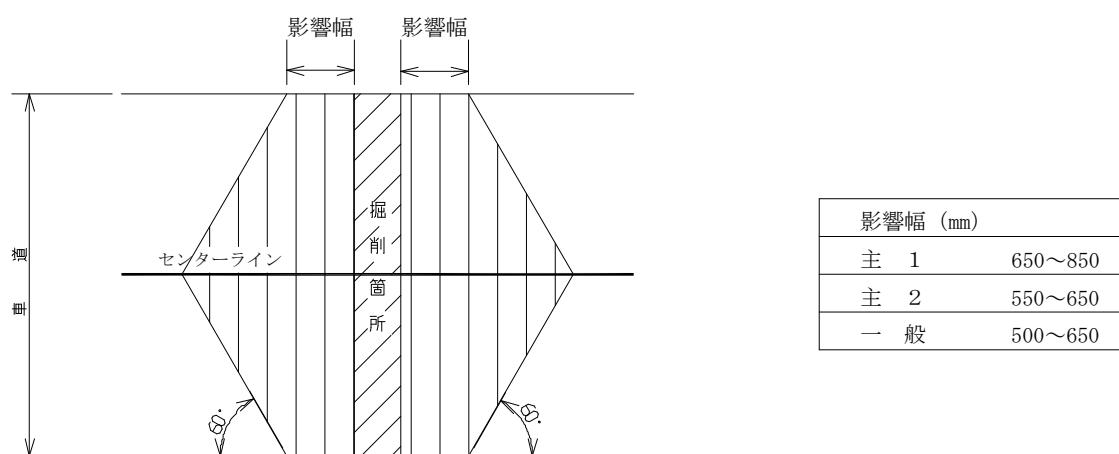
また、交差点及び道路形状が特殊な場合は、別途協議により決定する。

車道本復旧施工図(横断) 占用適用図 (幅員 5 m以上)

横断占用が連絡する場合の本復旧施工例



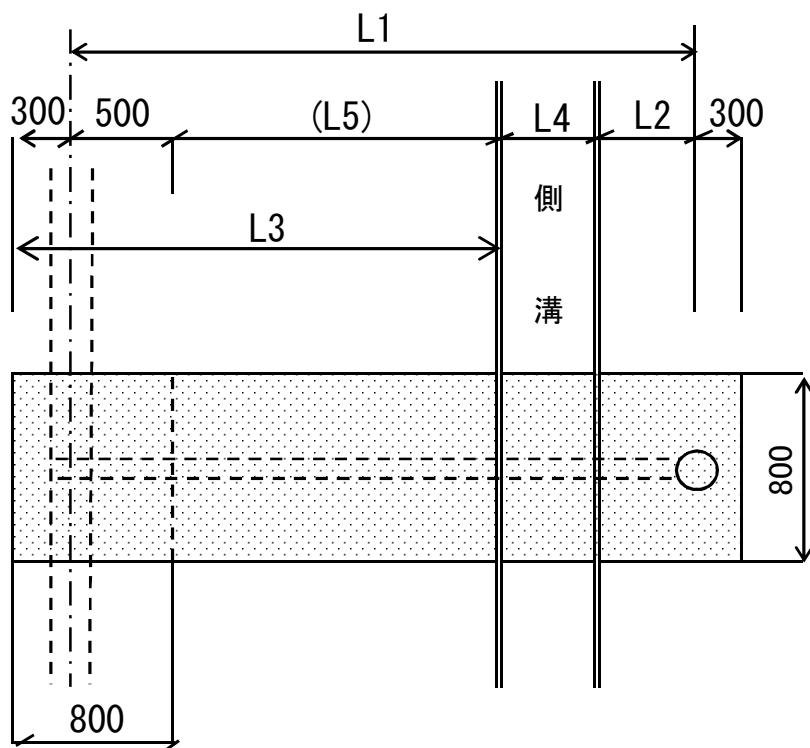
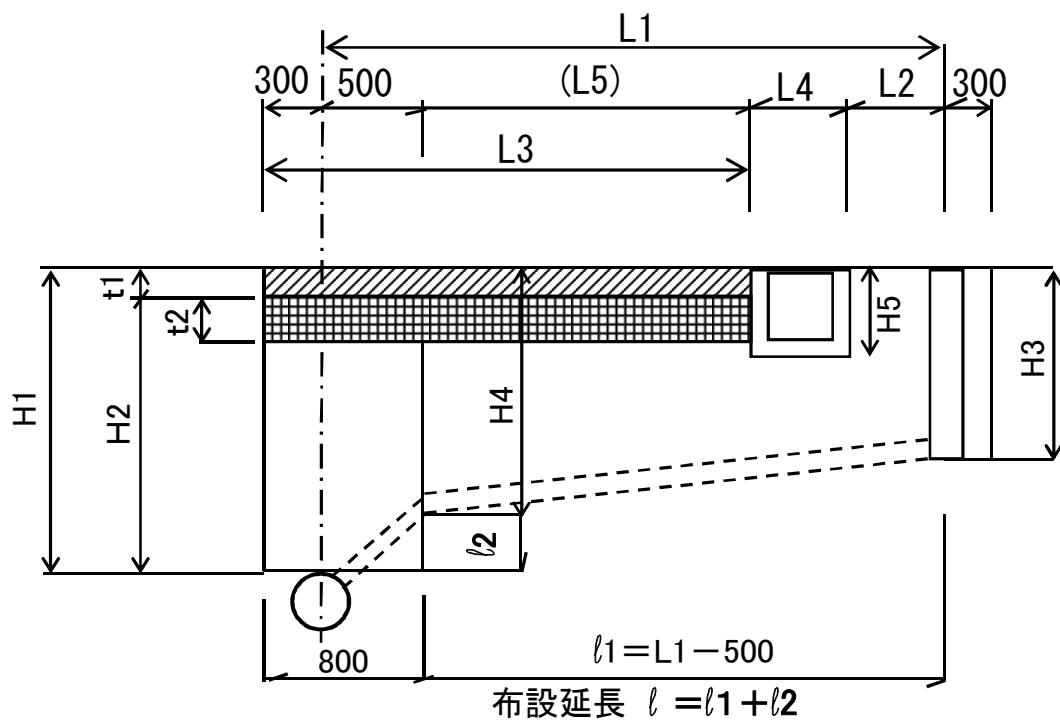
掘削幅が狭い場合の本復旧施工例



- * 同一路線で他の工事と競合する場合の舗装本復旧は最終の施工者を定め、路面の舗装継目が最小になるよう一面整備とする。

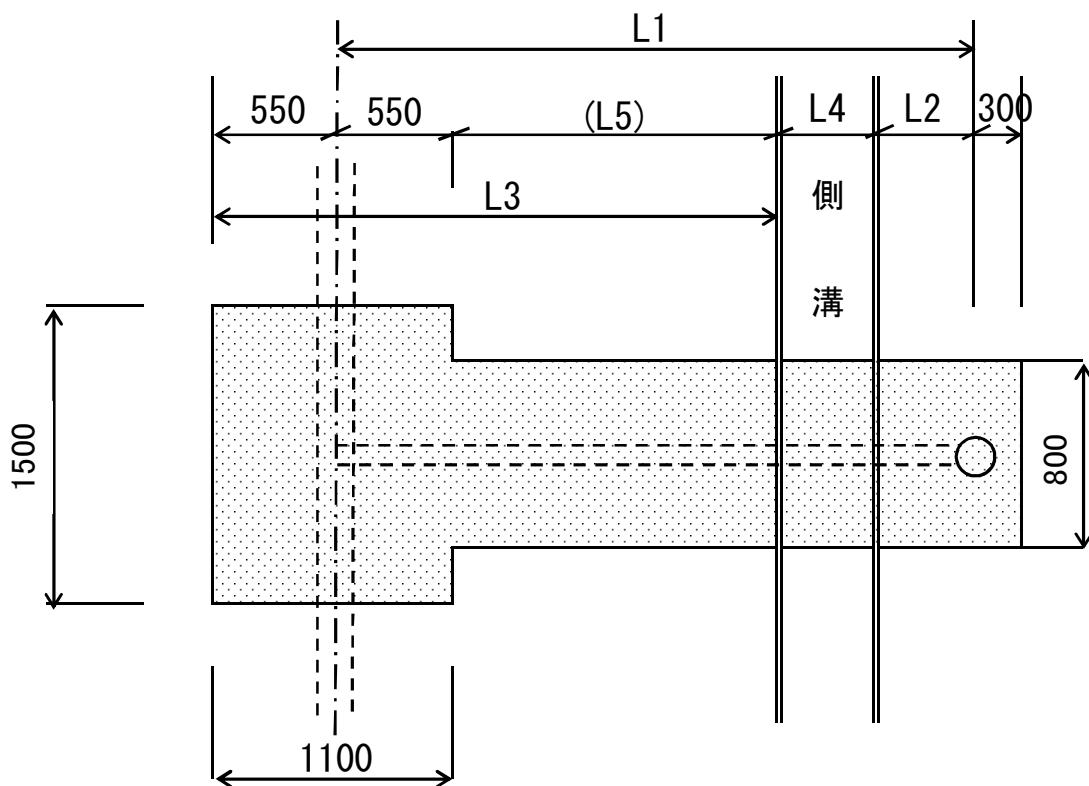
注 道路付属物等の改築に伴うアスファルト復旧においても適用する。

また、交差点及び道路形状が特殊な場合は、別途協議により決定する。

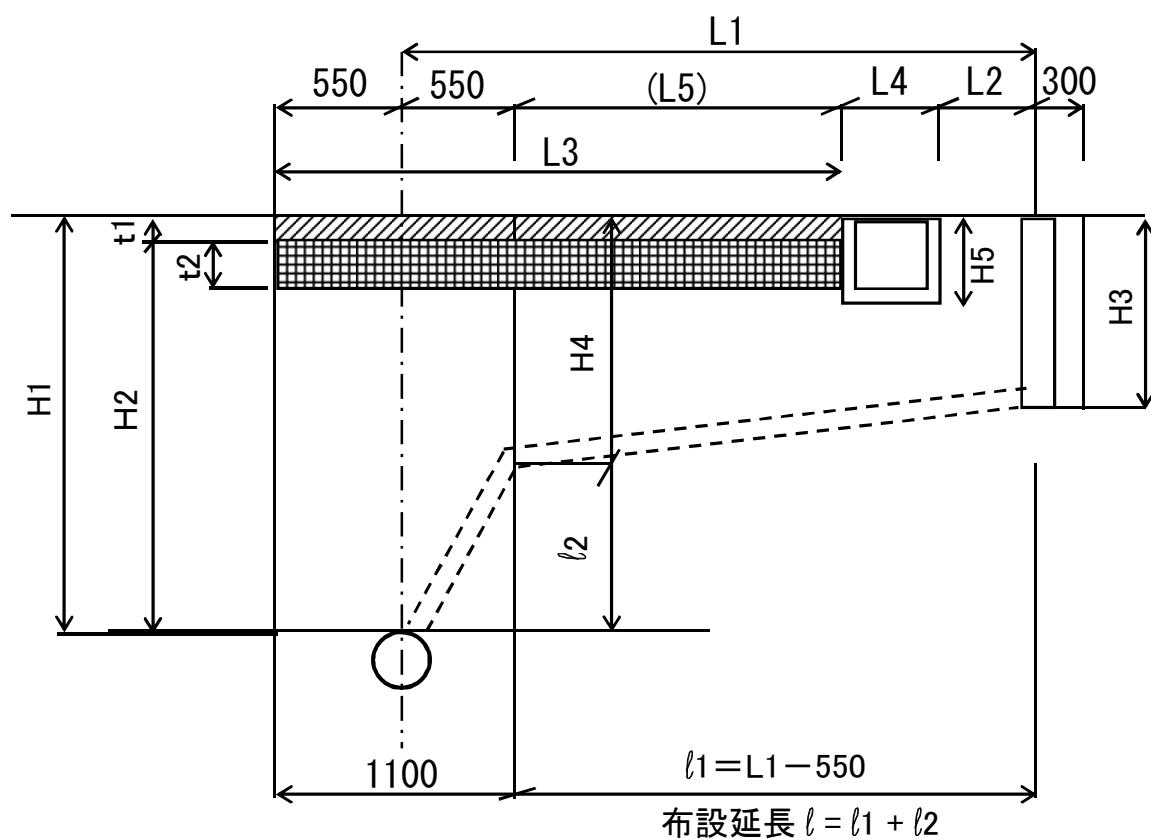
掘削タイプ：A平面図断面図

掘削タイプ；B

平面図

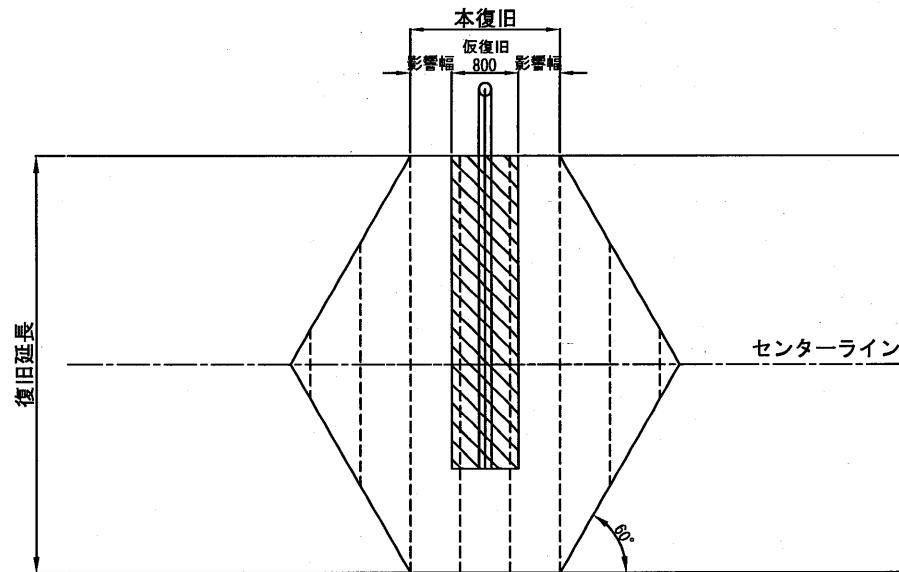


断面図

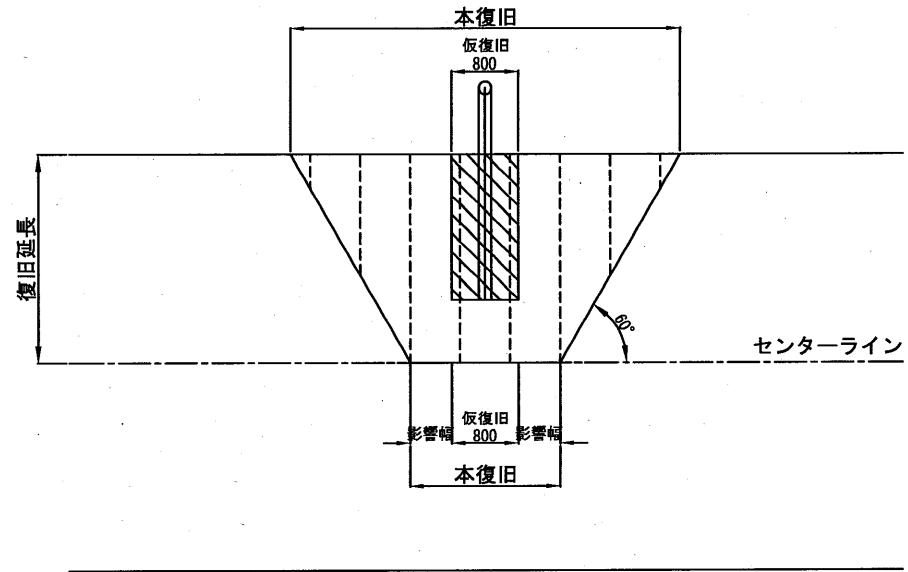


横断占用 本復旧平面図 (1)

〈横断占用がセンターラインを超える場合〉



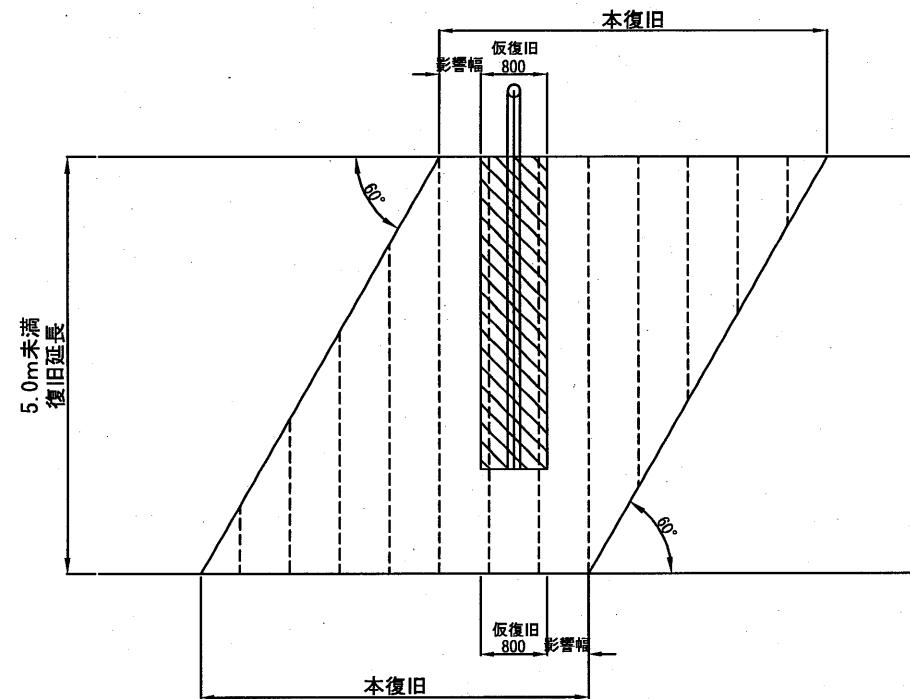
〈横断占用がセンターラインを超えない場合〉



	影響幅
主-1	650 ~ 850
主-2	500 ~ 850
一般	500

横断占用 本復旧平面図 (2)

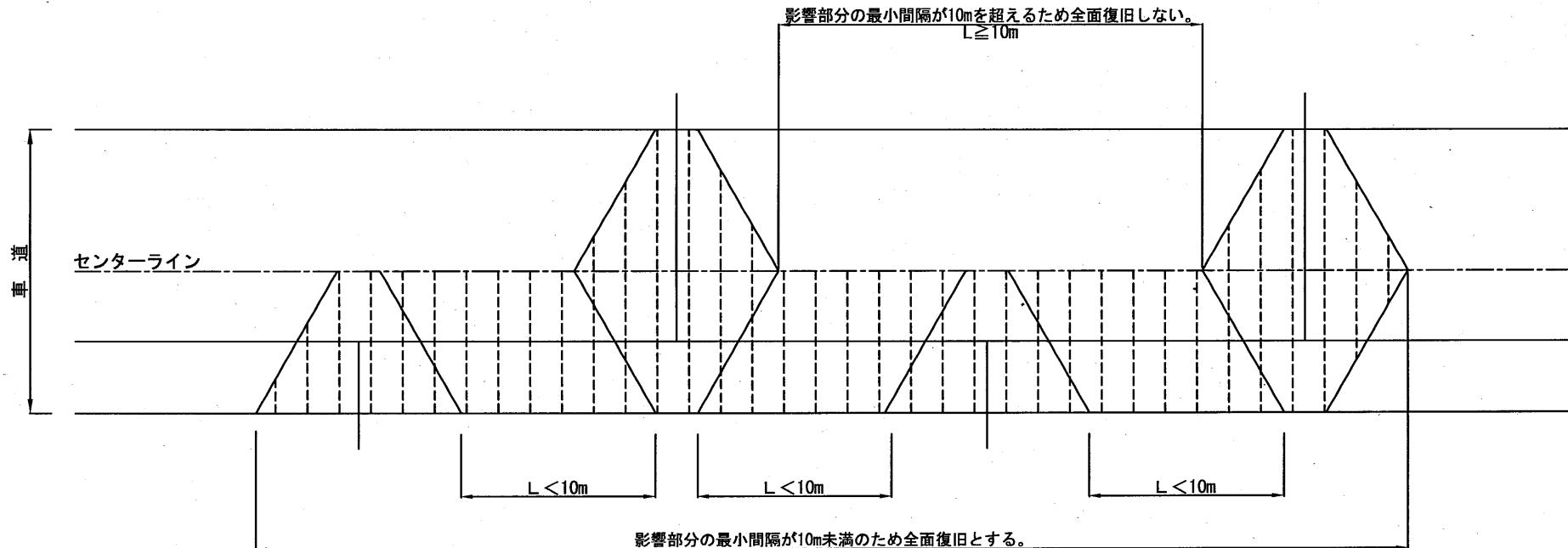
〈道路幅員が5.0m未満の場合の本復旧〉



	影響幅
主-1	650 ~ 850
主-2	500 ~ 850
一般	500

横断占用 本復旧平面図 (3)

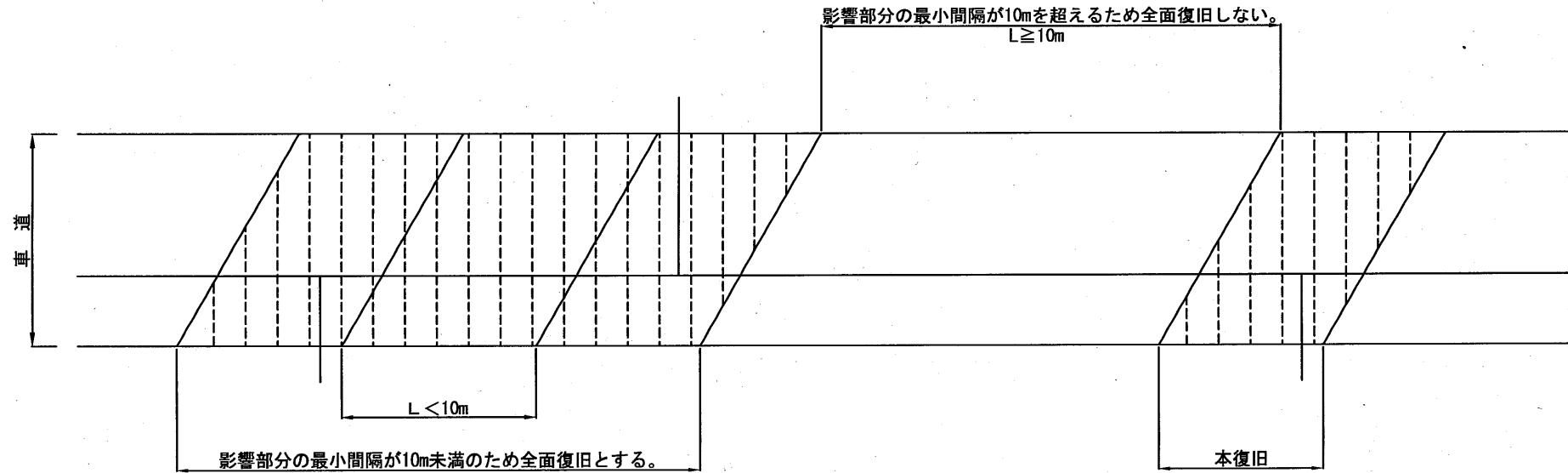
〈横断占用が連続する場合の本復旧施工例〉
(センター・ラインがある場合)



	影 韵 幅
主-1	650 ~ 850
主-2	500 ~ 850
一般	500

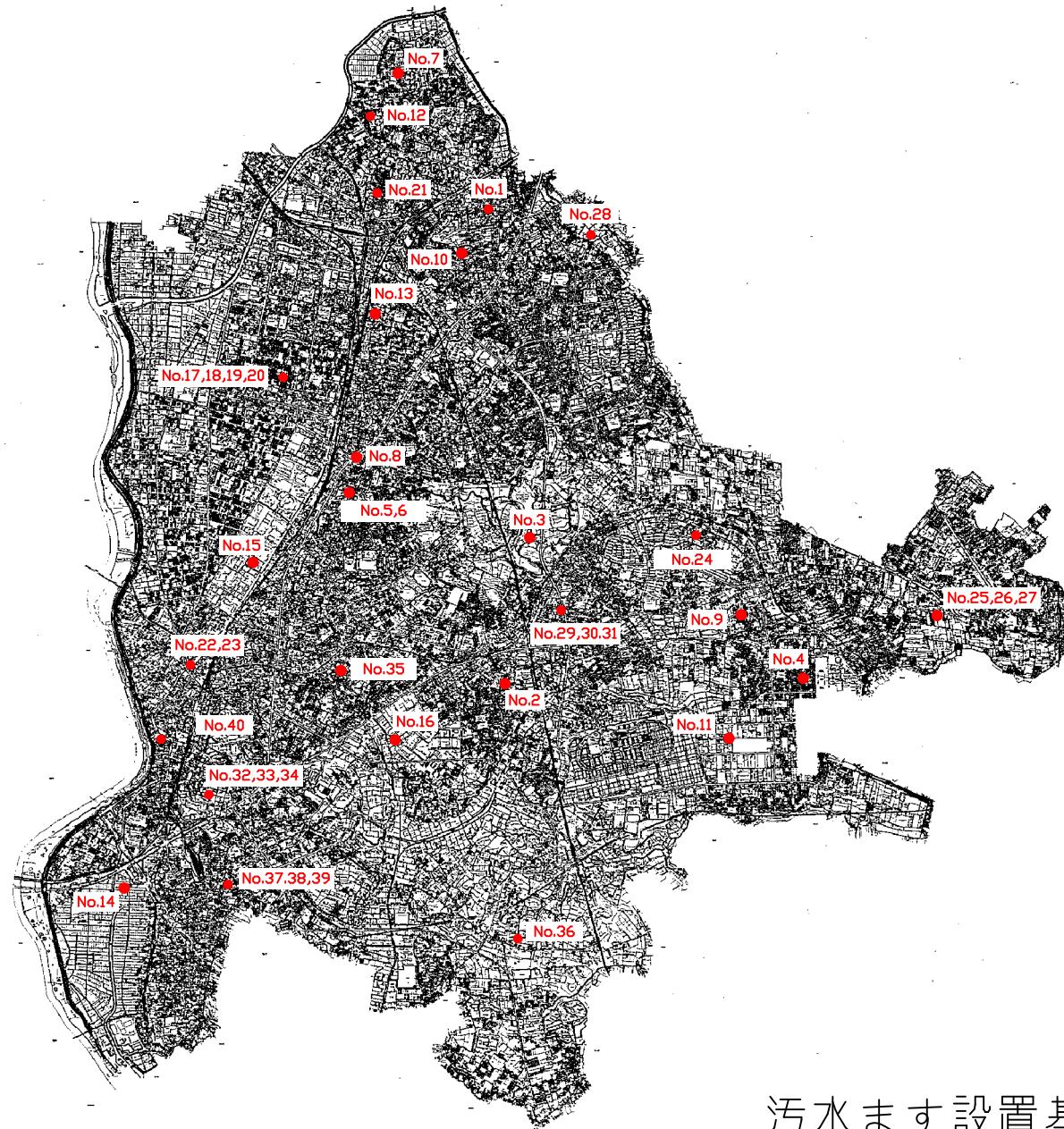
横断占用 本復旧平面図 (4)

〈横断占用が連続する場合の本復旧施工例〉
(道路幅員が5.0m未満の場合)



	影響幅
主-1	650 ~ 850
主-2	500 ~ 850
一般	500

汚水ます設置工事(R7-3工区)



汚水ます設置基數 40基